

第6学年2組 道徳科学習指導案

1 主題名 広い心でわかりあう

2 教材名 「お別れ会」

(出典：学研「みんなのどうとく」千葉県版 6年)

B【相互理解、寛容】

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値や指導内容について

本主題で中心となる道徳的価値は、学習指導要領のB－(11)「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」である。中学年の「相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」を受け、中学校の「個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」へと発展するものである。高学年として「謙虚さ」という心情を感得し、それに基づく生き方をしようとする態度を育てることをねらいとする。相互理解とは、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めていくことである。また、寛容な心をもって他人の過ちを許すことは、自分も過ちを犯すことがあるからという自覚があり、自分に対して謙虚であるからこそできることである。そういった寛容さと謙虚さが一体のものとなったとき、広い心が生まれ、人間関係をよくするものとなる。

この時期の児童は、自分のものの見方や考え方についての認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになる。また、考えの近いもの同士が接近し、そうでないものを遠ざけようとする行動が見られる。そして、自分の立場を守るため、つい相手の過ちや失敗を一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりして、周囲の人との関係を悪くすることも少なくない。一方で、トラブルになるのを避けるために、言いたいことを我慢した結果、関係がうまくいかないこともある。そのような時期だからこそ、よりよい人間関係を築くために、互いに思いを伝え合い、謙虚な心でなぜそのような考え方をするのかを、相手の立場に立って考える態度を育てることが重要であると言える。

そこで本主題では、主人公のすっきりしない気持ちや、立場の異なる友達の気持ちを話し合い、もやもやした気持ちをもつ主人公が大切にしたいほうがよいこと(心のもち方)を考えさせたい。そうすることで、自分の思いを伝えることや相手の考えを受け入れることよさに気づき、互いに広い心で関わろうとする心情を育てたい。

(2) 教材について

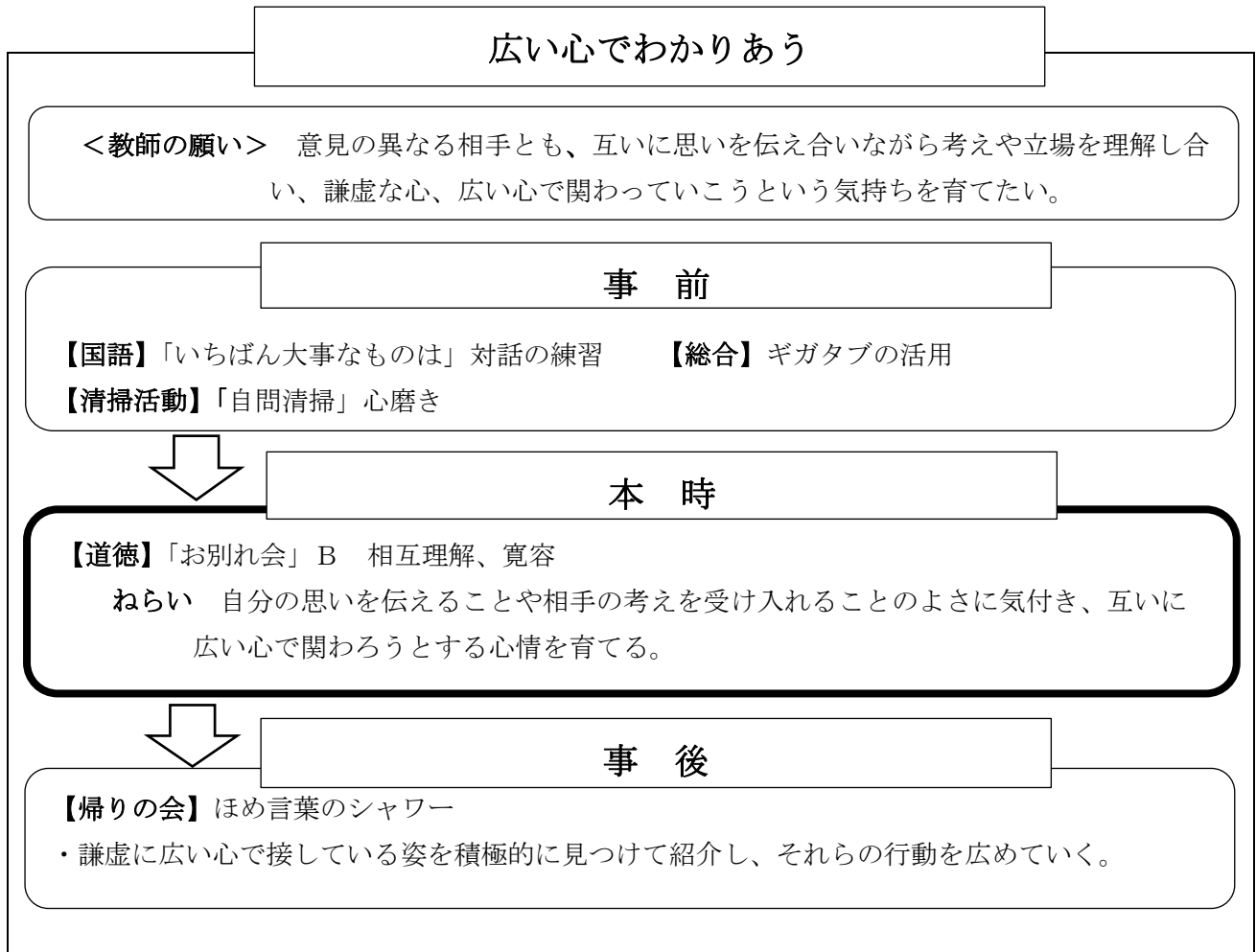
使用する教材の特徴(教材観)

本教材は、互いの立場と気持ちのすれ違いについて扱ったものである。主人公である直美は、お別れ会の約束の日、家族でのドライブという誘惑に後ろ髪を引かれる思いをするも、約束を果たす決心をする。ところが、お別れ会を延期するという電話に友達の約束を大事にしようとした自分の気持ちを踏みにじられてしまう。翌日、直美はどうして早く連絡をくれなかったのかと友達に問いただす。友達は都合が悪かったことを説明したり、直美をなだめようとしたりするが、直美の怒りは収まらない。しかし、時間がたつにつれて、何のためにお別れ会をしようとしていたのか、改めて考え直すうちに、直美はなんとなくすっきりしない気持ちになるという内容である。

主人公直美の相手をなかなか許せない気持ちは共感できるものであり、児童が身近な問題として考

えやすいものである。主人公が許せない気持ちを話し合うことで、互いの考えや意見を謙虚な心で受け止め、広い心で相手を許すことよさに気づき、自己の生き方について考えることができると期待される。

4 指導構想



5 本時の指導

(1) ねらい

自分の思いを伝えることや相手の考えを受け入れることよさに気づき、互いに広い心で関わろうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	指導の手立て ◇評価
事前授業	<p><事前></p> <p>(1) これまでに「人を許せない」「考えが合わない」と思ったときの経験を思い出す。</p> <p>○みなさんは、どのようなときに許せないと感じて、そのときにどうしているのでしょうか。</p>	<p>・自分との関わりで考えられるようにアンケート結果を掲示し、クラス児童の傾向を伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>許せないと感じる場面は意外とある</p> <p>思いを伝える場面で許せないと感じる人が多い</p> <p>相手にはっきりと思いを伝える人が3分の1</p> <p>言いたいことがあっても伝えない人が多い。</p> </div>

	<p>(2) 教材「お別れ会」を読んで考えたことについて感想をもつ。</p> <p>○どんなことを感じましたか。感想を書きましょう。</p> <p>○直美は、どうすればよかったですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもって話し合いに参加できるように、また、話し合いの時間を確保するために、事前に教材を読み、感想をもたせる。 ・本時の話し合いの見通しをもつため、あらかじめ感想と気になる場面についてワークシートに書かせておく。
<p>導入</p> <p>展 開 前 段</p>	<p><本時></p> <p>1 教材「お別れ会」の内容を振り返り、読んだ感想を話し合う。</p> <p>○みなさんの感想から、何が問題だったのか考えてみましょう。</p> <p>直美に関する感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直美ひどい 言い過ぎ 言い方がよくない ・相手の気持ちを考えていない ・我慢していい思い出にすればいい ・家族とのおでかけ行けなくてかわいそう <p>小原さんに関する感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんなに言われてかわいそう ・引っ越しで大変だったのではないか ・早く伝えてあげればいいのに <p>二人の友達に関する感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかってあげてもいい <p>○直美がすっきりしない気持ちを考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は友達との約束を大事に思って優先したのに、友達はそうではなく悔しい。 ・自分は約束を守ったのだから、間違っていない。自分は悪くない。 <p style="text-align: center;">↑↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しそうな小原さんの気持ちを考えると言い過ぎたか。小原さんのためのお別れ会だったのに。小原さんを責めてしまった。 ・私がもう少しみんなの立場や事情を考えてあげればよかったかな。 <p>○みんなが気持ちよく生活していくためには、どうしたらいいのでしょうか。</p> <p>○直美が相手の立場を理解し、相手を思って伝えれば、これでうまくいきますか。みんな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの感想を集約した資料（AI テキストマイニングを活用）をテレビに映す。クラスの見解を共有し、関心の高いことから、話し合いを進めていくことで、自分事の問題として話し合えるようにする。 ・どの場面でどうしてそのような行動したのか気持ちを考えていく。場面絵を掲示し、お互いの関係がわかるようにする。 <p>・直美のすっきりしない原因を話し合うことで、単に直美が言いすぎているだけでなく、穏やかに接したくても、そうできない理由があったことに気付かせる。(友達を思いドライブに行かない決断をしたことや友達を思うあまり電話のときに事情を伝えなかったこと、自分と相手の「友達を思う気持ち」の差が悲しかったことなど。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを全面に出すのではなく、ひかえめに、相手の意見や思いを受け入れながら伝えるといった伝え方を考えさせる。 ・小原さんや友達の気持ちも話し合うことで、相手のおかれた状況や気持ちに気付かせる。

	<p>ながハッピーにありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の対応も気になる。 <p>2 許せないと思ったときに大切にしたいこと（心のもち方）について考える。</p> <p>○もやもやしたときに大切にしたいこと（心のもち方）はどういうことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の立場や事情を理解して、相手の思いや考えを受けとめる。 相手を思う心 許す心 受け止める心 自分も同じことがあるかもしれないし、友達から学ぶこともあるから控えめに伝えよう。 謙虚な心 自分の思いもわかってもらえるように伝える努力をしよう お互いに理解しようとする心 <p>3 みんなで考えた「大切にしたいこと（心のもち方）」を使うと、どのような関わり方が考えられるかを話し合う。</p> <p>○みんなで考えた「大切にしたいこと（心のもち方）」を使うと、直美はどう接することができますか。どこを直せそうですか。どこに戻ってやってみたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思いは伝えないと伝わらないし、回数が重なると苦しくなることを確認する。自分の思いは、伝えたほうがよいことを確認する。 許すためには、相手の対応も大きく影響を与えることに気付かせる。 相手のことを考え理解し、受け入れようとしても、相手の対応によっては、許せないこともあることをおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> もやもやしたときに大切にしたいこと（心のもち方）を視覚的に振り返ることができるような板書にする。大切なことを児童の言葉でまとめられるようにする。（広い心、認め合う心、相手を考えて察する心、…） みんなが気持ちよく生活していくためには、相手の立場や事情を理解して、相手の思いを謙虚に受け止め、許し合うことが大切だということを確認する。
<p>展 開 後 段</p> <p>終 末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習で学んだことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習を通して、どのような対応が相手を思っ て接していることになるのか考えて、主人公直美の関わり方を考えさせる。児童の戻って 考えたい場面を実際にやってみる。 表現する際に意識するポイントを伝えさせる。そうすることで、見ている側が視点をも って見るができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 自分事として考え、これからの生活に生かすことができるようにワークシートに本時の学 習の振り返りを書かせる。その際、これまでの自分、今日の学習で考えたこと、これからの ことについてなどの振り返りの観点を知らせる。 <p>◇相手の意見や立場を理解し、謙虚に受け止 め、広い心で人と関わっていこうという気持</p>

		ちをもっている。 (ワークシート・発言)
--	--	-------------------------

お別れ会



名前 ()

○ お話を読んでどのようなことを感じましたか。

○ 直美は、どうすればよかったのでしょうか。

の場面

○ 今日の学習のふりかえり(これまでの自分、今日考えたこと、これからの自分、友達の考え)

.....

.....

.....

.....



今日の学習を通して	ふりかえり
① 自分のこととして考えることができましたか。	◎・○・△
② 自分の考えをもち、意見を伝えることができましたか。 (回)	◎・○・△
③ 友達の意見を聞いて考えを広げることができましたか。	◎・○・△
④ これからの生活に生かしていこうと思えましたか。	◎・○・△